



吉原 美智恵 議員

予算編成と行財政改革は

町長

事業の見直しや効率化をすすめる

【町長】 地方交付税の減や、会計年度任用職員制度も始まり、最少の経費で最大の効果をあげることを念頭に置かなければならない。すべての職員が、大切な税金であることを

【吉原】 予算編成の権限は町長に属しており、独自の政策や重点の置き方は町長によって変わると考えられる。財源に限りがあり、歳出を抑える考え方も大事であるが、持続可能な財政の確立をふまえた予算となっている。

【吉原】 事業の見直しのなかで、継続されている防災監の仕事や子どもと楽しいまちプロジェクト事業など、検証されたのか疑問である。

【町長】 今後、しっかりと改革に生かしていく。行財政審議会の指摘にもあるが、課のワーキンググループの活用も大切ではないか。

【吉原】 事業の見直しのなかで、継続されている防災監の仕事や子どもと楽しいまちプロジェクト事業など、検証されたのか疑問である。



予算編成をする財務課

公共施設の最適な配置は

町長

情報の周知に努める

【町長】 現在、数多くの公共施設を保有しており、限られた財源の中ですべての施設を維持管理することは困難である。本町では、今後30年間で施設を20%減らすことを目標に掲げている。

【吉原】 公共施設などの管理計画は、今後個々の施設計画や老朽化対策に移るが、町の貴重な財産であり住民の生活に直結する問題である。計画の実施には住民の理解と協力は欠かすことができず、地域の合意形成は重要である。これからの公共施設の最適な配置は。

【吉原】 これからの総合戦略で財政推計から見ると、校舎やほかの

る。

この計画をもとに、

地域住民と協議して公共施設の最適な配置を

【吉原】 これからの総合戦略で財政推計から見ると、校舎やほかの

建物を更新すると、今の規模では年間約5億円必要となる。

住民に現状を知らせて協議していくべきでは。

【町長】 適切な情報の周知に努める。



解体される中山清掃センター